

1

単元名

〔大項目〕 C 日本の様々な地域

〔中項目〕 (2) 日本の地域的特色と地域区分 ④ 交通・通信

2

単元の目標

- 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色を理解する。

▶▶【知識及び技能】

- 日本の地域的特色を、交通や通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。

▶▶【思考力・判断力・表現力】

- 日本の地域的特色と地域区分について、交通や通信を基にそこで見られる課題を主体的に追究するとともに、よりよい社会の実現を視野に入れながら、他者と協働しながら主体的に社会に参画する態度を養う。

▶▶【学びに向かう力、人間性等】

3

単元の評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色を理解している。	日本の地域的特色を、交通や通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

時間	学習過程	主な学習活動	◎指導のポイント ◆主な評価の観点
第1時	課題設定	● 本単元の学習の目的や方法、学習課題を理解する ・ パフォーマンス課題を確認する ・ 学習サイトの使い方や内容を、サイトマップを参考にしながら確認する。 ★ 本単元の学習目標 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、 これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人々の往来等を基に、 ↓ 国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を明らかにしよう ・ 貿易や輸送について、これまでの学習の成果を整理したり、その特色を予想したりする。 ・ グループで共有する	◎ この単元では何を学習するのか （目的・目標を明確にもつ） ・ 学習課題の提示 ・ 学習プロセスやパフォーマンス課題の説明、注意点 ・ 学習サイトの説明 ◆ 知識・技能
第2時	情報収集	● 学習課題を解決するために必要な情報を、サイトマップを見ながら学習サイトやリンクサイト等を活用して収集する ・ 情報収集の仕方やポイントを学ぶ ・ 調べた成果をワークシートに記録する ・ 複線型の授業形態で実施する ・ 指導が必要な生徒は、授業者からの指導を受ける	◎ どのように情報を扱うのか （情報を適切に扱う） ・ 情報収集についてのアドバイス ・ 必要に応じて一斉指導を実施 ・ 情報収集を徹底させる ◆ 知識・技能
第3時	整理分析	● 収集した情報を取捨選択しながら活用し、学習課題を解決する ・ 情報の関連付けや考察の仕方やポイントを学ぶ ・ 調べた情報を基にして、学習課題を考察し、その結果をワークシートに記録する ・ 複線型の授業形態で実施する ・ 指導が必要な生徒は、授業者からの指導を受ける ・ 他者の考察も参考にしながら、自身の考察を深める	◎ 情報を基に何を考えるのか （情報を根拠にして考察する） ・ 集めた情報の吟味と解釈とを支援 ・ 学習課題を理論的に考えさせる ・ 将来への展望を構想させる ◆ 思考・判断・表現

時間	学習過程	主な学習活動	◎指導のポイント ◆主な評価の観点
第4時	まとめ	● 自分が考えた学習課題の解決を、タイトルを含めスライド5枚で表現する ・ 学習の成果を基にして、一人一作品を作成する ・ タイトル以外の4枚のスライドの構成を考える ・ 構成に合わせて集めた情報や考察を表現する ・ エビデンスに基づいた考察となるように意識する	◎ よりよい表現とは何か (考察結果を適切に表現する) ・ スライド作成の支援と助言 ・ 良い点を共有させる ・ 改善点の考察を促す ◆ 思考・判断・表現

※主体的に学習に取り組む態度は、単元の学習全体を通じて見取る

※各時間の後に、進捗状況や学習の成果、自己評価(工夫点や改善点)などを、Googleフォーム(もしくは任意の学習支援ソフト)を活用して収集する

※一人一台端末を学習の様々な場面で活用する:情報収集や分析、記録、考察、表現、提出など

※発表の活動は学校や生徒の状況に合わせて、任意で設定することが可能

5

本単元のパフォーマンス課題(第1時で生徒に提示する)

あなたは、国内外に幅広く事業を展開する大会社の企業内研究員です。あなたの会社では、国内外に事業を幅広く展開していくために、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きについて研究を深めることが必要になりました。そこで社長から、あなたの所属する「研究調査課」にミッションが提示され、社長自ら研究調査課の部屋を訪れ、次のように話しました。

「知っての通り我が社は国内外に事業を幅広く展開している。この会社の業績を上げるためには、更なる国内外への展開が必要だと考えている。しかし、そのためには、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色をしっかりと理解することが必要だ。そこで、研究調査課のメンバーには、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色について調べ、その成果を社内に広めてほしいのだ。国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、また、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人々の往来等を基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を明らかにして、その成果をスライド5枚にわかりやすくまとめてくれ。そして、その成果を踏まえて、今後の日本や世界の貿易がより発展していくためにはどうあるべきか、メンバー一人一人の意見を聞かせてくれないか。それらを参考にして、我が社のこれからの事業展開を考えていこうと思うのだが。なお、調査研究にあたっては、今回のミッションにとっても有効なサイトがあるから、それを思う存分に利用してくれ。情報の収集と吟味、さらには情報を関連付けながら深く考察することが重要だ。ぜひともよろしく頼むよ。」

研究調査課のメンバーは、会社のこれからのつながる大きな仕事の依頼に、実が引き締まる思いです。メンバーは、社長から告げられた今回のミッションをよく確認し、おのおので研究グループをつくったり、個人で取り組んだりしながら、各自のパソコンを駆使して国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色について調べていくのでした。

A (すばらしい)	「国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を明らかにする」という学習課題を、学習サイトやリンクサイトの資料だけでなく他の資料も有効に活用して合理的に解決し、その成果を社会的に工夫を凝らした表現で他者にわかりやすい表現で示している。
B (合格です)	「国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を明らかにする」という学習課題を、学習サイトやリンクサイトの資料を活用して合理的に解決し、その成果を他者にわかりやすい表現で示している。
C (もう一歩)	学習サイトやリンクサイトの資料をうまく活用できていなかったり、「国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を明らかにする」という学習課題を合理的に解決できていなかったりする。 スライドの表現が情報の羅列等となっていて、自身の解釈や工夫が見られない。

★国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況

- ◎交通や通信のネットワーク整備が進んでいる
- ◎日本は交通網、通信網が集中する拠点の一つに数えられている

★これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人々の往来

- ①海外の輸送手段・・・
- | | | |
|------|---|-----|
| 物流 | → | 船舶 |
| 人の往来 | → | 航空機 |
- ②国内の輸送手段・・・
- | | | |
|------|---|--------|
| 物流 | → | 自動車、船舶 |
| 人の往来 | → | 自動車、鉄道 |

◎輸送対象の違いとともに、輸送距離、輸送時間、地域性などによって輸送手段の違いが見られる



★国内各地の結びつきや日本と世界との結び付きの特色

国内各地の時間的な距離が短縮されている
物資の国際間の移動が活発であることから世界各地と強く結びついている

様々な面で結び付いている地域 特定のことで結びついている地域 相対的に見てまだ結び付きの弱い地域	}	<u>いろいろな状況がある</u>
--	---	-------------------

交通・通信の整備が進むことで各地域間の結びつきが変化している
地方都市間では時間的な距離が短縮されていないところもあること

本授業案は、中学校社会科地理的分野の、大項目C日本の様々な地域、中項目(2)日本の地域的特色と地域区分より④交通・通信を想定した単元指導計画です。学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』には、本単元の学習を進めるにあたってたいへん有効な写真や動画、資料地図や解説などが掲載されています。小学生の社会科学習向けに作成された学習サイトですが、掲載されている情報は、中学校での学習内容にも充分合致し、しかもわかりやすい表現で構成されていますので、生徒が自らの力で学んでいく個別最適な学びの形態による学習には、大変使いやすい教材です。そこで、学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』を活用した個別最適な学びの形態による学習を考えました。

個別最適な学びの形態による単元計画を作成するにあたってのポイントは、以下の5点です。

- ① 探究の過程に基づいた時間構成
- ② 生徒の主体性を重視した複線型授業の実施
- ③ 生徒の学習活動を支援する一人一台端末の活用
- ④ 個別最適な学びの形態を初めて実践する先生方や生徒への配慮
- ⑤ 生徒の学習意欲を高めるパフォーマンス課題の設定

それでは、この5点についてそれぞれを解説いたします。

① 探究の過程に基づいた時間構成

単元構成は、個別最適な学びの形態による学習がより深まることをねらい、探究の過程(①課題設定②情報収集③整理分析④まとめ)に基づき全4時間構成としました。この探究の過程を崩さないのであれば、学校や生徒の状況に合わせて時数の配分を増やしていただいても構いません。また、一人一台端末の活用を前提にしていますので、授業以外の時間(家庭学習の時間や放課後の時間)なども工夫していただくのもいいかと思います。

授業の実施にあたっては、それぞれの時間における活動の意味を生徒に明確に理解させ、それぞれの学習活動に徹底させることが重要であると思います。特に2時間目の情報収集と3時間目の整理分析は混同しやすいところです。それぞれの学習活動を、それぞれに徹底させることが、学習成果を上げることに通じますので、ぜひ明確に理解させてください。学習を進める際は、付属のワークシートを活用もしくは参考にするといでしょう。このワークシートは、Googleドキュメントなどを活用したデジタルワークシートの形で生徒に配布するのもいいかと思います。デジタルワークシートですと、入力したテキストをスライドにまとめる際に活用できたり、写真などの資料も記録しておけます。さらには、スペースにとらわれることなく自由に入力できますので、学習の記録アイテムとしては大変有効です。

② 生徒の主体性を重視した複線型授業の実施

2時間目と3時間目は、生徒が主体的に調べて考察する時間となります。この2時間が個別最適な学びの形態による授業の中核です。ここではぜひ複線型授業の形態で実施してください。個人で学習を進める、複数の生徒と協力して学習を進める、授業者の指導によって学ぶなど、複数の学習形態を教室内で展開し、その取捨選択は生徒に委ねるのです。もちろん形態を途中で変えるのも自由です。活用する資料も、学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』を中心にしながら、リンクサイトを閲覧したり、任意のサイトを活用したり、文献資料を活用したりと、生徒の思いのままに展開させてください。

生徒が調べ学習になれていないという状況であれば、学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』のみを活用する設定としてもいいでしょう。調べ学習になれていない生徒の場合は、自由に学習を進めていいと言われても、どのように進めればいいのかかわからず茫然としてしまう場合があります。活用するサイトを『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』に限定しておけば、有用な情報がすぐに手に入り学習が進みます。また、わかりやすいサイトマップも必要な情報を集めるのに役立つはずです。生徒の資料活用技能の状況に合わせて授業形態を工夫してください。

③ 生徒の学習活動を支援する一人一台端末の活用

個別最適な学びの形態の実践には、一人一台端末の活用が絶対です。情報収集だけでなく、集めた情報の記録や整理、学習課題の考察やまとめ表現など、単元の学習のいたるところで一人一台端末の活用を意識してください。

また、一人一台端末最大のメリットは、クラウドであることにあります。クラウドだからこそ、いつでも、どこでも学習が可能になります。生徒主体の学習は、学校での授業時間だけでは、時間が足りなくなります。それをクラウドで補ってください。個別最適に学習を進めるからこそ、授業以外の時間でも生徒が学習意欲をもって自ら学習を進められるという学習欲求を満たしてあげてください。

クラウドは授業者にとっても便利です。一人一台端末を活用して学習を進めているからこそ、いつでも、どこでも生徒の学習状況や学習成果を把握することができます。生徒の学習状況を常時観察したり、授業末に行う自己評価や次の授業への工夫・改善などをGoogleフォームや各自治体で導入されている授業支援ソフトを活用したりして、生徒の学習状況の把握や共有を行ってください。

④ 個別最適な学びを初めて実践する先生方や生徒への配慮

個別最適な学びが話題となっていますが、まだ実践までには至っていなかったり、一抹の不安を抱えていたりする先生方も多いかと思います。そのような先生方の良きチャンスとなるよう、なるべく簡単に個別最適な学びの形態を実践できるように配慮しました。時数の基本を4時間と設定したのも、無理なく手軽に実践してもらいたいための配慮です。基本の4時間を、学校や生徒の実態に合わせて調節し、授業者が一番やりやすい単元構成をつくってください。

また、前述しましたが、学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』は、貿易と輸送を理解するにあたり、大変活用しやすい構成とわかりやすいコンテンツから成り立っています。「これだけあれば貿易と輸送について基本はしっかりと学べる資料」ですので、生徒にいきなりネットサーフィンをさせるよりも確実な資料を活用させて学習形態を経験させることは、個別最適な学びの形態にまだ慣れていない生徒にとってもよいことではないでしょうか。

学習のまとめを個人のスライド作成までにとどめているのも配慮の一つです。「スライドを作成したら発表させなきゃ」と、ついながちですが、発表は別の学習要素となります。単元内の過度な学習要素を抑えることを意識して、本単元の学習の成果を個人のスライドにまとめて終わるところでとどめました。

もちろん、学習に余力があるのであれば、発表まで広げても構いません。デジタルスライドでの作成ですので、生徒間で共有することは容易です。グループをつくって発表し合い、各グループの代表を選定して、学級全体でランキングするなどいろいろな工夫ができると思います。ランキングや選定もGoogleフォームなどを活用すれば簡単に行うことができます。他者の作品の評価を収集するのにも活用できると思います。

⑤ 生徒の学習意欲を高めるパフォーマンス課題の設定

今回の単元構成ではパフォーマンス課題も作成しました。パフォーマンス課題は、単元の学習を一つの文脈の中で表現するストーリーであり、生徒が学習の過程を深く理解することができます。また、単元の学習の成果を生かした総括的な課題ですので、生徒の学習状況を見取り、単元の学習評価をする際に大いに役立ちます。

今回のパフォーマンス課題は、生徒が「国内外に幅広く事業を展開する大会社の企業内研究員」となって、「事業をさらに幅広く国内外に展開していくために、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色について調べる」というミッションが社長から下されるというストーリーです。学習サイト『くらしを支える貿易と輸送を学ぼう』を十分に活用して、単元の目標である「国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する」ことを追求するものになっています。そしてこの学習課題に取り組んだ成果を5枚のスライドの中で表現し、提示したルーブリックに基づいて評価します。単元の目標、学習課題、パフォーマンス課題、そしてルーブリックの密接な関連を十分に意識してください。

学習課題

国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、
これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人々の往来等を基に、



国内各地の結びつきや日本と世界との結び付きの特色を明らかにする

1 資料を活用して、結びつきの実態をとらえよう。

★国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況

★これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人々の往来



2 国内各地の結びつきや日本と世界との結び付きの特色を明らかにしよう。

4 今後の日本や世界の貿易がより発展していくためにはどうあるべきかを

1 を生かして考えよう。